

平成27年度

企画調整課事務報告

企画調整係

商工観光係

情報通信係

○事業成果の概要(企画調整課)

山江村においては、平成27年度を地方創生元年と位置づけ、平成26年度補正予算を活用して、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地域消費喚起・生活支援型)事業により、プレミアム商品券発行事業、プレミアムタクシー券発行事業、低所得者等向け商品券購入助成事業を行い住民の生活支援を行った。また、同交付金(地方創生先行型)事業においては、山江村人口ビジョン及び山江村まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するとともに、雇用創出のための山江村地域しごと支援事業や地域の自立を促す山江村地域自立支援事業等を実施した。

山江村人口ビジョン及び総合戦略の策定においては、村長を本部長とし教育長、各課局長で構成する、やまえ・まち・ひと・しごと創生対策本部会議、各課局の主幹・係長級による対策本部幹事会議及び産・学・官・金・労・言で構成する山江村総合戦略策定委員会により、将来のあるべき姿を描き、現状の把握と課題解決に向けた基本的方向、具体的な施策を取りまとめた。山江村人口ビジョンにおいては、2060年(平成72年)の将来人口展望を3,000人に設定し、総合戦略においては①むらの活力につながる雇用づくり②移住、定住の促進づくり③結婚・出産・子育ての希望をかなえ、笑顔のたえないむらづくり④安心な暮らしを実現するむらづくりの4つの基本目標を掲げ62の施策を設定した。

この他、地方創生の歩みを確実に進めるために、地域資源を活用した産業創出を目的とする山村活性化支援交付金事業の実施や中小企業地域資源活用促進法に基づくふるさと名物応援宣言を行い、ゆずの新商品開発等にも取り組んだ。また、山江村への移住定住促進策として、熊本県地域づくり夢チャレンジ推進事業を活用した空き家の買収とリフォームのための設計を行った。

山江村が抱える各種の課題整理とその解決へ向けた政策の立案を目的に東京大学との共同研究の拠点として山江村地域づくり研究所を設置した。同研究所においては、ICTを活用した村づくりを進めるために山江村情報化戦略を策定し農業、防災・環境、福祉、教育・人材育成の4つの分野における具体的な取組内容とスケジュールを設定した。特に栗については、東京のミシュラン二つ星シェフを招聘し生産農家、加工、流通、販売、商品、旅館経営者等を対象とした講演会とデモンストレーションを行った。この他、山江村未来塾として、地域情報化アドバイザーや東京大学大学院の教授を招いての講演会を開催した。

企画調整係

1. 住環境整備事業

各地域からの住環境整備に対する要望に対し素早く柔軟に対応するため予算を確保している。本年度においては、本城の森周辺の竹木、及び丸岡公園の桜(大雪による幹裂け)を伐採した。

(単位:円)

番号	事業名	事業費
1	本城の森分譲地法面及び木竹伐採業務委託	356,400
2	丸岡公園等支障木伐採業務委託	110,484

2. 地方創生推進事業

人口減少・超高齢社会を迎え、構造的な課題に対して地方創生に取り組み、課題解決に向け地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用し各事業を実施した。

(1) 地方消費喚起・生活支援型

(単位:円)

No	事業名	金額(税込)	備考
1	消費喚起プレミアム商品券発行事業	5,088,000	
2	プレミアムタクシー券発行事業	213,000	
3	低所得者等向け商品購入助成事業	2,115,000	

(2) 地方創生先行型

(単位:円)

No	事業名	金額(税込)	備考
1	山江村総合戦略策定事業	8,525,117	
2	山江温泉「ほたる」トイレバリアフリー化事業	1,200,000	
3	山江村地域しごと支援事業	3,020,289	
4	山江村地域自立支援事業	2,743,000	
5	山江村総合情報システム等構築事業	2,970,000	

3. 山江村住宅リフォーム助成事業

住民の居住環境の向上及び村内の商工業等の活性化を図るため、住民が居住する住宅のリフォームにおいて助成を行った。

(単位:円)

No.	改修工事内容	工事額(税込)	交付決定額
1	段差解消、省エネルギー推進等	426,600	85,000
2	段差解消、省エネルギー推進等	1,036,849	200,000
3	農業集落排水接続、子供部屋	1,296,000	200,000
4	農業集落排水接続、天井断熱材	3,010,000	200,000
5	天井・床・壁張替、便器取替、手すり	864,000	172,000
6	浴室・洗面所・トイレ改修	1,097,500	200,000
7	農業集落排水接続、段差解消	2,768,000	200,000
8	木材利用促進、省エネルギー推進	1,400,000	200,000
9	浴室段差解消	1,946,700	200,000
合 計		13,845,649	1,657,000

4. 企業誘致及び工業用地等造成事業

(1)人吉・球磨企業誘致連絡協議会の活動

人吉・球磨の10市町村が、企業誘致に関する情報を交換し、また、連携して企業誘致を推進することにより、人吉・球磨地域における雇用の場を創出することを目的として活動を実施した。

【平成27年度の活動実績】

- 運営委員会の定例会を各月開催(10回)
- 熊本県企業立地課との意見交換会の実施
- 企業誘致フェア(農業参入)及び企業訪問
- 人吉球磨地域の現地見学会(JR九州商事株式会社)
- 企業訪問研修(東郷メディキット株式会社、西原商会グループ株式会社フレッシュ食品、西原商会グループ株式会社ゆば将))
- 最新のパンフレット及び企業誘致マップ等を作成(1,000部)

(2) わらびの工業団地の活用について

予てから村有地の払い下げを希望されていた、鷹乃産業有限会社との山江村有地売買契約を締結し、以下のとおり払い下げを行った。また、工業団地内の雨水対策として、排水路、横断溝を新設した。

土地

所在	地番	地目	地積
球磨郡山江村山田丁字蕨野	2477 番1	宅地	1,063.48 m ²
球磨郡山江村山田丁字蕨野	2478 番3	宅地	1,383.15 m ²
球磨郡山江村山田丁字蕨野	2470 番 34 の一部	雑種地	5,350 m ²

建物

所在	種類及び構造	床面積
球磨郡山江村山田丁字蕨野 2477 番地1	事務所 (鉄骨造亜鉛メッキ 鋼板葺平屋建)	288.00 m ²
	集会所 (鉄骨造亜鉛メッキ 鋼板葺平屋建)	240.00 m ²
	車庫 (鉄骨造亜鉛メッキ 鋼板葺平屋建)	57.66 m ²
球磨郡山江村山田丁字蕨野 2470 番地 13	倉庫 (鉄骨造スレート葺 平屋建)	1,000.00 m ²

工事

	事業名	事業費
1	平成 27 年度蕨野工業団地排水路新設工事測量設計業務	291,600
2	平成 27 年度蕨野工業団地排水路新設工事	2,020,173

5. 広報やまへの発行

「広報やまへ」は、住民へ山江村の政策や住民サービス情報、村内の話題等を伝えることを通じて、住民と行政のパイプ役として重要な役割を果たしている。また、村外にいる山江出身者へも故郷の状況を伝える役目も担っている。

現在、広報誌の内容はホームページ上でもPDF形式により掲載しており、全世界から山江村の広報を閲覧することも可能。購読希望者へは有料で送付している。

- 事業費 2,864,160 円
- 発行部数 1,400 部／1 カ月
- 発行日 毎月第4金曜日
- 村外購読者数 22 名

6. 緊急雇用創出事業

雇用対策として、雇用・就業機会を創出・提供し、かつ研修等を通じた人材育成を行う村内事業所と村とが業務委託契約を締結し、「緊急雇用創出事業補助金」を活用し事業を実施した。

○事業費

- (1)緊急雇用創出基金事業(地域ひとつくり事業) 事業所 1 件 800,965 円

7. 統計調査業務

(1)学校基本調査

基準日:平成 27 年 5 月1日

(2)市町村村民所得推計

調査対象年度:平成 25 年度

(3)国勢調査

基準日:平成 27 年 10 月1日

指導員:迫田友香、西義晴、原先健一

調査員:19 名<<役場職員 12 名、統計登録調査員 7 名>>

8. ふるさと山江村定住奨励記念品贈呈

定住を奨励することを目的として、村内に住宅を新たに建設又は購入し、村に転入した者に対し歓迎の意を込め記念品を贈呈した。

○「ほたる米」引換券 12 枚(240kg分)を贈呈(1 件)

○温泉入浴券(12 綴り*25 組)を贈呈(1 件)

9. 山江村ふるさと応援寄附

寄附金内訳

	寄附者の寄附金希望使途事業	件数(件)	金額(円)
1	特産品の開発及び地域産業の振興に関する事業	6	60,000
2	高齢者の生活を支援する地域づくりに関する事業	8	150,000
3	自然環境保全並びに地域景観の創造に関する事業	10	100,000
4	青少年の健全育成及び教育環境整備に関する事業	10	100,000
5	伝統芸能並びに文化の伝承及び創造に関する事業	0	0
6	ボンネットバス「マロン号」の保存及び活用に関する事業	2	20,000
7	その他目的達成のために村長が必要と認める事業	26	437,200
	合 計	62	867,200

10. 土地利用

国土利用計画では、土地の利用について土地の高騰を抑制して、乱開発を未然に防止するため届出制による土地取引を義務付けている。

○ 国土利用計画法第23条第1項による届出件数(10,000㎡以上) 0 件

11. マイナンバー制度に係る各種システム改修

平成27年10月5日より番号法が施行されたことに伴い、仮付番の準備や各種基幹系システムの改修を行った。また、中間サーバー接続に伴う庁内ネットワークの変更を行い、庁内サーバー室へ管理端末2台、中間サーバー接続端末2台、L2スイッチ1台等の整備を実施した。

12. 地域づくり夢チャレンジ事業

そこで暮らす地域住民の方々や市町村が、地域の維持・発展に自らチャレンジし、地域を元気にする取り組みに対して、熊本県は「地域づくり夢チャレンジ推進補助金」による支援を行っている。山江村が実施主体としてこの補助金を活用し、以下の2つの事業に取り組んだ。

① やまえ柚子新商品開発事業

補助率: 2/3 (899,000 円) 総事業費: 1,348,920 円

村内農家所得向上の為、山江村の物産振興を図ることを目的に構成されている「九州山江村物産振興会」を中心に連携し、やまえ柚子を使った新商品開発事業を昨年度に引き続き実施した。

また、他の産地との差別化や都市部の購買者に売れる商品づくりと販路開拓については専門性を要する為、福島県会津若松市の(株)山際食彩工房の山際博美氏を外部コンサルタントとして招聘した。

平成27年度の主な事業実績

- ・検討会の実施(3回)
- ・モニタリング調査(1回 福島県南会津郡南会津町)
- ・3品目の柚子を使用した新商品の商品化
柚子胡椒、柚子七味、ぶっかけ塩

②山江村移住定住促進事業

補助率: 2/3 事業費:(補助対象経費) 1,080,440 円

(補助対象外経費) 2,360,000 円(空き家購入費)

計 3,440,440 円

高齢化が進み空き家が増加する一方で、子育て支援に力を入れる本村への移住希望の問い合わせが増加傾向にある。そのため、空き家を活用とした移住定住の促進を行うための事業を実施した。

平成 27 年度の主な事業実績

- ・「山江村移住定住促進委員会」会議開催(1回)
- ・改修物件の選定、購入

土地

所在	地番	地目	地積
山江村大字万江乙字濁毛	30番	宅地	392.50 m ²

建物

所在	種類及び構造	床面積
山江村大字万江乙字濁毛30番地	居宅 (木造瓦葺平屋建)	125.45 m ²
	炊事場 (木造瓦葺平屋建)	16.36 m ²
	便所 (木造瓦葺平屋建)	6.61 m ²

- ・空き家不動産鑑定
- ・空き家改修に伴う設計

13.東京大学との共同研究 ICT を活用した山江村地方創生情報化戦略策定

山江村の防災、住民福祉、健康管理、教育、農林商工業等、住民生活のあらゆる分野における ICT 活用方法を東京大学大学院須藤修研究室と共同研究した。

14.地域づくり研究所の開設

村民生活のあらゆる分野において、ICT を活用することで、村民の安心安全な生活の確保や産業の振興による所得の向上、雇用の確保を図ることを目的に地域づくり研究所を平成28年1月22日に開設した。併せて、山江村「山村活性化講演会」を東京大学大学院情報学環須藤修教授を講師に迎え同日に開催した。

商工観光係

日本経済は、「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」の「三本の矢」からなる経済政策を一体的に推進することによって、デフレ脱却・経済再生と財政健全化の双方を進められてきた。しかし、地方経済への波及は皆無に等しく、依然厳しい状況が続いている。

本村においては、過疎化の進行やディスカウントストアの相次ぐ出店に伴い、以前にも増して経営状況が悪化している企業もある。

そのような中、平成27年度においては、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、プレミアム付き商品券の発行を山江村商工会が事業主体として実施。これにより村内事業所へ 23,844,000 円の経済効果が生まれた。

また、やまえつつじ祭りをはじめとする各種イベントの開催や物産振興、丸岡会において交流や情報交換を行った。

今後は、地方創生の実現に向けた取り組みや観光資源を活かした新たな魅力の創出及び情報発信を行っていく必要がある。

1. イベント

①やまえつつじ祭り

ホームページ等に丸岡公園のつつじの開花状況を随時に情報発信し、つつじの名所の魅力と山江村の良さをアピールするとともに、祭りによる交流人口増加を目指すことを目的に開催。

■期日:4月19日(土)~4月20日(日)

■場所:丸岡公園一帯

②やまえ夏まつり

ふるさと山江村の魅力をアピールすることを目的に開催している。俳優中原丈雄さん率いるバンドが演芸ショーに出場し会場を盛り上げた。

■期日:8月8日(土)

■場所:山江村役場前広場

2. 観光振興事業

本村は観光拠点となる施設及び多くの資源に恵まれた環境にある。人々の交流促進、経済の活性化、観光の振興にはどうしても情報の発信が必要不可欠である。

都市部での催事等に参加し、本村の魅力や観光等のPRを実施。また、各種情報媒体を可能な限り駆使し、観光宣伝活動を実施した(テレビ、ラジオ番組、新聞、雑誌掲載、ホームページ等)。

山江温泉「ほたる」と物産館「ゆっくり」については、平成26年12月のリニューアルを受け、温泉施設への新たな設備導入、食事・宴会メニューの一新、新たな人事体制での再出発を行い、経営改善に努めてきた。平成27年度は更なる改善を図るため、地方公営企業等経営アドバイザーを招聘し、様々な分野への助言をいただいた。このことを受け、今後も継続的に経営の改善を図っていく。

■(株)やまえ

・山江温泉「ほたる」宿泊者数(人)

平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
2,500	1,974	2,693

・山江温泉ほたる及び物産館ゆっくり利用者数(人)

	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
山江温泉ほたる	88,648	70,121	84,873
物産館ゆっくり	71,993	61,502	60,756
計	160,641	131,623	145,629

・売上額(千円)

平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
197,365	174,442	202,596

・税引前当期純利益(千円)

平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
△13,205	△552	△8,199

・山江温泉ほたる施設工事

工事名	工期	工事請負額
山江温泉「ほたる」水源地ポンプ基盤取替工事	3月3日～ 3月25日	529,200円
山江温泉「ほたる」厨房動力盤外改修工事	3月23日～ 3月30日	543,240円

3. 特産物振興関係

特産である栗を中心としながら、新たな特産物の開発や販売を行い、村民所得と山江村の認知度を向上させる取組。

本年は中小企業庁の「ふるさと名物応援事業」を行い、やまえ栗の加工品群を応援する趣旨で「ふるさと名物応援宣言」を実施。更なるやまえ栗のブランド化を推進した。

また、栗商品等改良及び販売戦略のため、山村活性化支援交付金を活用し、やまえ栗に関する現状分析や、マーケティング計画の策定などを行った。

平成21年に「海山交流宣言」を交した対馬市においては、11月1日(土)に開催された「第28回いきいき豊玉産業祭」にて栗及び栗加工品等の物産販売を行い、栗まんじゅう600個、米60キロを完売。特産品である栗を使用した加工品や地域産物等の評判も順調である。また、観光情報館「ふれあい処つしま」に山江コーナーを開設した。

対馬市からは平成24年度から毎年、産業振興まつりにおいて特産品の販売を実施していただいている。今後も更なる交流促進を検討する必要がある。

なお、新たな特産物の開発として前述した「地域づくり夢チャレンジ」事業において、柚子商品の開発に取り組んでいる。

(1).山江村特産品等出店事業助成金交付実績

① 『九州・沖縄の物産展』

申請者:(株)やまえ

期日:10月7日から10月13日

場所:東京都町田市原町田(小田急百貨店町田店)

出店物:栗まんじゅう、びっくり団子、利平ようかん

② 『ニッポン全国物産展』

期日:11月20日から11月22日

場所:東京都豊島区東池袋(池袋サンシャインシティ)

出店物:栗まんじゅう、びっくり団子、利平ようかん、ゆずマロン

③ 『春の九州物産展』

期日:2月25日から3月1日

場所:千葉県千葉市中央区新町(そごう千葉店)

出店物:栗まんじゅう、もちっ娘、利平ようかん、栗きんとん、ゆずマロン

(2)海山交流事業(対馬市)

① 『28回いきいき豊玉まつり産業祭』

『ふれあい処つしま物産販売・山江コーナー開設』

期日:10月31日(土)から11月2日(日)

場所:長崎県対馬市

参加事業者:物産振興会(株)やまえ

出店物:栗まんじゅう、米など

(3)山村活性化支援交付金事業

補助率10/10(1,231,856円) 総事業費1,396,037円(村負担164,181円)

①栗商品等改良及び販売戦略策定

②食品乾燥加工技術開発

③ICTと地域活性化講演会(東京大学 須藤教授)

④栄養成分分析(生栗、栗まんじゅう、びっ栗団子、渋皮煮、栗きんとん)

⑤ミシュラン2つ星レストランシェフによる講演会開催

やまえ栗の将来を考えるーやまえ栗を分解する・再構築するー

(4)ふるさと名物応援宣言

地域の実情に通じ、様々な関係者との連携の軸となりうる市町村が、地域を挙げて「ふるさと名物」を応援することを目的に、「やまえ栗の加工品群」についてその宣言を実施した。(9月27日栗祭りにて)

4. 内水面漁業振興に関すること

(1) ヤマメの養殖

漁業振興と地域活性化を目的に、昭和63年度内水面漁業振興対策事業により淡水魚(ヤマメ)養殖施設を整備。

平成16年度からヤマメ生産組合へ施設管理委託を行っている。

(2) ヤマメの放流

ヤマメの放流を行いヤマメの増殖を図ることで、自然豊かな山江村のイメージを向上させる。

放流日:平成27年12月3日

放流稚魚数:1,834匹

放流場所:万江川の各所

(3) やまめ釣り大会

大会に参加し、山江村の自然豊かな環境の中で釣りを楽しむことで、リピーターとなる村のファンを獲得することを目的に開催。なお、10回目となる今回を持って大会は終了となった。

開催日:平成27年4月29日(祝)

開催場所:尾寄崎キャンプ場一帯

参加者数:47名(大人36名、ジュニア11名)

(4) 稚鮎放流

昭和45年に球磨川漁協と毎年稚鮎30,000匹を万江川へ放流する稚鮎放流に関する契約を締結。

・アユ放流負担金240,000円

放流日:平成27年4月29日(水)

5. グリーンツーリズム・交流事業

自然、歴史と文化、農林業など地域にあるものを見つめなおすとともに、その資源を活用しながらあるがままの山江村を体感することによって生まれる感動を根本とする交流活動を推進している。

村内団体により、下記のような交流活動が行われた。

団体名	内 容	期日等	備 考
やまめ生産組合	ヤマメ釣り大会	4月29日	
グリーンツーリズム研究会	豆腐作り体験 鹿児島県鹿児島市医療 法人陽善会「いっぽいっ ぽ」より体験受入	5月11日	26名受入
やまめ生産組合	ヤマメのつかみ取り	7月～9月	
NPOかちやリンクやまえ	第9回万江川塾	9月19日	56名参加
NPOかちやリンクやまえ	第10回万江川塾	11月29日	110名参加
NPOかちやリンクやまえ	第11回万江川塾	2月11日	30名参加

6. 丸岡会関係

本村出身者で構成される丸岡会は、山江村の振興策の提言や交流促進を目的にお互いの親睦を深め、情報を共有するために開催される。今年度は熊本、関東地区において開催された。平成27年度は人吉球磨の文化が、日本遺産に認定されたことから、山江村の無形登録文化財に認定している東浦臼太鼓踊り保存会に依頼し、東京の会場で臼太鼓踊りを披露し参加者に好評を得た。

① 熊本丸岡会

期日：平成27年6月14日（日）

場所：熊本ホテルキャッスル（熊本市）

参加者：54名（会員37名、山江村から17名）

② 関東地区丸岡会

期日：平成28年2月13日（日）

場所：スクワール麴町（東京都千代田区）

参加者：96名（会員60名、山江村から36名）

7. 結婚対策

進行する晩婚化や少子化に対応すべく、球磨郡9カ町村にて「結婚支援協定」が平成24年4月13日に締結され、広域で連携した支援を行っている。定期的に打合せ会議を開催し、イベントの企画を行った。

また、山江村社会福祉協議会主催によるアルペンローゼ(婚活支援事業)が展開されており、村としても「山江村婚活支援事業助成金交付要綱」を制定し支援を行っている。

開催イベント

●球磨郡9町村合同企画 クリスマスパティー

期 日:平成 27 年 12 月 5 日(土)

場 所:あさぎり町「ポッポ一館」

参加者:男性 2 人・女性 1 人

●アルペンローゼ(1回目)

期 日:平成 27 年 12 月 13 日(日)

場 所:えびの市周辺

参加者:男性 8 人・女性 8 人

(村内参加者:男性 6 人・女性 1 人)

情報通信係

地上アナログ放送の終了に伴う難視聴地域対策として、平成22年4月に開局したケーブルテレビセンターは、デジタル放送・BS放送・CS放送に加え村内のイベントや、行政からのお知らせなど、山江村の情報を提供する自主放送を行っている。

また、情報格差の是正として、光ファイバーによる高速インターネットを村内全域で利用できる環境を構築することで、産業経済及び教育文化の向上、村民福祉の増進を図っている。

1 加入状況

ケーブルテレビ

年 月	実質世帯数	加入件数	加入率	備考
平成27年3月末	1,165	918件	78.80%	事業所等56件
平成28年3月末	1,151	922件	80.10%	事業所等54件

インターネット

年 月	実質世帯数	加入件数	加入率	備考
平成27年3月末	1,165	205件	17.60%	事業所等9件
平成28年3月末	1,151	231件	20.07%	事業所等9件

加入状況について昨年度末と比較すると、ケーブルテレビの加入件数については4件の増となっている。世帯数も減少しているが、加入率は80%台を超えてきている。加入件数と新規の引込件数が増加し新たにケーブルテレビに加入する世帯が増えている。

インターネットについては、加入件数が26件の増、加入率が2.47%の増となっており、年々増加している傾向にある。

2 ケーブルテレビ事業運営状況

(1) 使用料、手数料収入

○料金設定

- ・基本使用料 1,500円(セットトップボックス1台含む)
- ・セットトップボックス1台 500円
- ・インターネット 2,500円(一般世帯)、4,000円(事業所等)
- ・無線ルータレンタル 100円

○収入済額

- ・使用料現年度分 23,271,800円
- ・使用料過年度分 258,300円

(2) 番組制作

○やくばだより

- ・各課から選出の代表者により会議を行い、やくばだよりでお知らせする内容などを検討した。会議は2週間に1回行い年間26回の開催となった。

(毎週月曜日更新の15分番組)

○やまえ CATV 情報局

- ・山江村に関するイベントや村内の出来事などを伝えるニュース番組
(毎週土曜日更新の30分番組)

○やまえ TODAY

- ・毎日の出来事や翌日のお知らせ、おくやみ等を伝えるニュース番組
平成26年5月より放送を開始した。
15時頃までに撮影できた映像を編集し、その日の18時55分に放送している。
(議会開催日を除いた平日更新の5分番組)

○スペシャル番組

- ・体育祭や式典などを30分から2時間程度の長時間で編集した番組
(不定期更新)

○その他の番組

- ・テレビ回覧板、テレビ村長室、山江駐在所からのお知らせ、やまえねこ歩き、
議会の生中継・録画放送、健康体操、その他緊急放送

(3) 機器操作等サポート

○サポート状況

- ・加入者からの連絡により毎週数回は加入者宅へ出向いてのサポートを行っている。
また、休日のテレビ視聴が多いためか土日の連絡が月に数回ある。

○サポート内容

- ・主なサポート内容は次のとおり
 - テレビが映らない
 - ・テレビの入力切替
 - ・リモコンのスイッチ切替
 - ・テレビや STB 等の電源が入っていない
 - ・テレビの移動等による配線間違い
 - 電話がつながらない
 - ・電話機の故障
 - ・告知端末の不具合
 - ・ONU の不具合
 - インターネットがつながらない
 - ・告知端末の不具合
 - ・ONU の不具合
 - ・無線ルータの不具合

※簡単な操作誤りや、すぐに回復できるケースが多い。

3 ケーブルテレビ業務委託事業

(1)平成27年度ケーブルテレビ施設設備維持管理業務委託

事業理由:情報格差の是正、難視聴地域の解消を目的に導入したケーブルテレビ事業の施設設備の維持管理を委託するもので、年間を通じた受信点設備・ケーブルテレビセンター設備保守点検・伝送路設備点検・伝送路保全工事を実施するもの。

委託業者:熊本市中央区九品寺3丁目15番7号
株式会社SYSKEN
代表取締役 柏尾敬秀

委託費:8,305,200円

(2)平成27年度白岳災害復旧業務委託

事業理由:平成27年8月の台風15号による白岳地区の風倒木被害により、供架していたNTTの電柱が倒壊しケーブルが断線したため、九州電力(株)の仮設電柱に供架し、水無、大川内地区へのケーブルテレビのサービスを提供できるように仮復旧するもの。

委託業者:熊本市中央区萩原町14番45号
株式会社SYSKEN
代表取締役 福元秀典

委託費:669,840円

(3)平成27年度山江村IP告知システム設備機器更新委託業務

事業理由:平成21年に構築されたIP告知システムは告知放送、域内無料電話、インターネットサービスを提供するものとして、広く村民に浸透し、その役割の重要性は極めて大きいものとなっているが、既存の各サーバのOSがWindows2003R2、管理端末のOSがWindowsXPであり、既にセキュリティ更新プログラムや技術情報のアップデートなどのサービス提供が終了していることからOSの脆弱性が発見されてもセキュリティ対策が行われない状況にある。また、機器に対する保証期限も迫ったことから、既存のシステムを更新するもの。

委託業者:熊本市中央区桜町3番1号
西日本電信電話株式会社 熊本支店
支店長 上山圭司

委託料:20,304,000円